



落 五 便 り

12月号

新宿区立落合第五小学校

読み聞かせ交流会

副校長 湊 仁

◆今年度は読書週間を年2回行うこととし、その2回目を先月16日～27日に行いました。その活動の重点的な取組の一つに「読み聞かせ交流会」があります。子ども同士での本の読み聞かせです。今年で3年目を迎えます。縦割り班活動と共に本校の子どもたちにとって継承的な活動として位置づけられてきています。



◆その読み聞かせ交流会への高学年の取組を紹介します。

読み手は、5・6年生全員、聞き手は4年生以下の学年です。5・6年生は2週間前から、準備を始めます。5年生は1年生に、6年生は2～4年生相手に読みます。読む本は読み手自らが探します。本番で与えられる時間は15分の集会の時間内です。タイムオーバーしても少なすぎても駄目です。これらの条件を考えながら何を読むか自ら決めます。次に読む本が決まったら練習です。ただ本を選んで読めばいいというわけにはいきません。読書週間の始まった最初の週の中で担任か図書館支援員・図書館スタッフのいずれかに読んで聞かせ、合格をもらわないと読み聞かせ本番に参加できません。場合によっては、読む以前に本選びから、聞き手である対象学年にふさわしいものかなどの指摘を受けることもあります。

5・6年生にとっては、本番を迎えるのは簡単なことではないのです。

◆読み聞かせ交流会 11月26日(木)8:25～8:40

体育館・軽体操場のあちこちに分かれて読み聞かせが始まりました。読み手が真剣なのは当たり前ですが、実は聞き手の子どもたちも真剣に聴いています。

小さな輪の空間が一つの物語の世界で満たされます。読み手の数だけ、その世界が繰り広げられます。

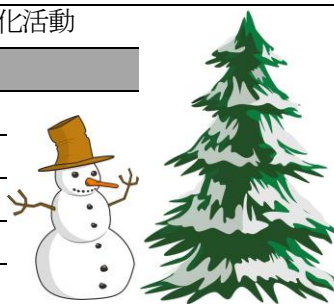
特に5年生は昨年の聞き手から、読み手へ変わり、大きな意識変革を求められましたが、その役割をしっかりと果たしていました。

◆～5年生の振り返りのカードから～

- 「楽しかったと言ってもらって嬉しかった。」
- 「少し間違えちゃったけど、自分も楽しめてよかった。」
- 「6年生になったらもっと頑張りたい。」

もう来年を意識しています。本校の伝統的な活動として継承されていくことでしよう。

日	曜	12月の行事予定
1	火	かがやき集会
2	水	外国語活動 避難訓練(二次避難)
3	木	委員会⑧
4	金	音楽朝会 保護者会(4～6年)
5	土	
6	日	
7	月	全校朝会 特時A
8	火	学校保健委員会 保護者会(1～3年)
9	水	外国語活動 研究授業4年 4時間授業(4年以外)
10	木	クラブ⑫
11	金	ユニセフ集会 バイキング給食(高)
12	土	
13	日	
14	月	全校朝会 特時A
15	火	バイキング給食(中) ユニセフ募金
16	水	外国語活動
17	木	クラブ⑬
18	金	かがやき集会 バイキング給食(低)
19	土	
20	日	
21	月	全校朝会 特時A
22	火	特時B
23	水	天皇誕生日
24	木	安全指導日 給食終
25	金	終業式 校内美化活動
26	土	冬季休業日始
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	



12月の目標

- ◎生活目標：物を大切にしよう。
- ◎保健目標：冬の健康な生活につとめよう。
- ◎給食目標：楽しくなんでも食べよう。

*平成28年1月7日 冬季休業日終
1月8日 3学期始業式

◆学校保健委員会「足元から始める健康づくり」◆

主任養護教諭 宮崎 亜希絵

12月8日(火)に学校保健委員会を開催します。学校保健委員会は、学校における健康に関する課題を教職員や保護者の方たちと研究協議し、健康づくりを推進するための組織です。時間・内容は以下の通りです。

○体験教室 13:30~14:15 (1・2年対象)

講師 本校主任教諭 西島 秀一

○講演会 14:20~14:50 全学年保護者

講師 日本教育シューズ協会 早川 家正先生

今年は児童の足元から健康をテーマに親子体験教室、講演会を実施します。足を見ればその子の運動能力がわかるといわれています。30年前より子どもたちの土踏まずが平らになっていることが問題視されていますが、どうすれば良いのでしょうか。みなさんと一緒に、足元から子どもたちの健康を見直してみたいと思います。どなたでも一緒に参観ができます。沢山の方のご参加をお待ちしております。

◆冬に流行する感染症対策◆

冬季は、気温が下がり、空気が乾燥するため感染症が流行ります。特に注意が必要なのが、インフルエンザやノロウイルスです。特に今年はノロウイルスの感染が比較的早く増加傾向にあります。ノロウイルスはふん便やおう吐物に含まれるウイルスで感染します。手洗い、うがいをしっかり行い感染拡大を防ぎましょう。また体調が悪い時は無理をしないで、早めに休むことが大切です。朝の健康観察を十分に行い、元気に学校に登校できますようにご協力をお願いします。

世界に目を向けて、自分たちにできること

～ユニセフ募金～

代表委員会担当 小林 明子

今年度12月14日(月)~12月16日(水)の3日間、代表委員会主催でユニセフ募金活動を行います。

たくさんのものであふれている日本では、何不自由なく生活できている事を当たり前とってしまいがちです。蛇口をひねればいつでも安全な水が飲めるし、当たり前のように学校に通い、家族と温かい部屋で過ごすことができます。しかし世界に目を向けると、落五小の子どもたちと同じ年頃の子どもたちが、学校に行きたくても行けず、毎日何時間も働いたり、病気で死んでいたり、日本の子どもたちにとっては考えられない現実があります。そういった世界の子どもたちに目を向け、少しでも現状を理解し、「自分たちにできること」を考えてもらうために、代表委員会では12月11日(金)にユニセフ集会を行います。

100円の募金で多くの子どもたちの命を救うことができます。ぜひ、募金活動にご協力ください。

【ユニセフ：100円でできること】

- ・ポリオから子どもを守るワクチン6回分
- ・1錠で4~5Lの水をきれいにできる薬192錠
- ・体の水分がなくなって命を失うことを防ぐ薬12袋

お楽しみバイキング給食について

栄養士 須之内 詠世

12月にお楽しみバイキング給食を、低・中・高学年、3日間に分かれて、家庭科室で実施します。

実施日：高学年 12月11日(金)

中学年 12月15日(火)

低学年 12月18日(金)

バイキング給食では、自分に適した食事量やバランスのよい食べ方を知り、体験することで、食に関する自己管理能力やバイキング給食のマナーを身に付けさせることを目的の1つとしています。また、児童が主体的に給食に参加することで、給食がより楽しみなものとなればよいと考えています。

当日は家庭科室のテーブルにクロスをかけたリ、バイキング用の大皿に盛りつけたり、普段の教室とは違う環境作りもしていきます。いつもの給食とは違う雰囲気の中で、友だちと楽しみながら食事をすることで、少し苦手なものでも美味しく食べられるかもしれません。友だちや先生と楽しく食事をする喜びを感じてもらえたらと思います。1年の終わりに思い出に残る給食になるよう、給食室一同張り切って準備していきます。

体罰等の実態把握について

新宿区では、子ども同士の友人関係や日頃からの教員の指導の在り方を見直す機会として6月、11月、2月を「ふれあい月間」と位置付け、人権教育や心の教育等を推進する取組を実施するとともに、いじめ、不登校、暴力行為等の問題行動及び教員の指導の状況について、現状や取組の効果等を把握するための調査を行っています。

具体的には、各学級で「自分のこと」「友達のこと」「先生のこと」について、アンケート調査を実施しています。

この度、東京都では、体罰の根絶に向けた取組の一環として、12月に都内公立学校を対象に、体罰の実態把握に関する調査を実施することになりましたが、新宿区では、11月のふれあい月間の調査から引き続き実態把握に努めています。心配なことがありましたら、学校にご相談ください。

新たに、児童及び保護者のみなさまからご相談いただいた内容については、学校として責任をもって確認し、速やかに対処してまいります。

保護者のみなさまには、学校の取組にご理解いただきますようお願いいたします。

学校評価について

保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。学校では、平成28年度の教育計画作成に向け、本年度の教育活動を振り返り、学校評価を実施しています。

学校評価は児童にも実施しました。保護者・地域の学校評価アンケートや児童の学校評価アンケートをもとに教職員で分析・検討し、次年度の教育計画を立てます。集計結果については、3学期にお知らせします。